

オープンキャンパスへ行こう！

琉球大学教職大学院

University of the Ryukyus

Graduate School of Education Professional School for Teacher Education



雨の日も

晴れの日も

大学院



2016.7.16.Sat

オープンキャンパス in 琉大

◆7月16日 (Sat) 文系総合研究棟 305 号室 10 時半からと 14 時半から



昨年の様子 * 今年のプログラム

昨年と同じように午前と午後の2回説明会を行います。午前は10時半から、午後は14時半からです。会場は、教育学部となりの大学院専用教室のある文系総合研究棟305号室です。

授業時間	月	火	水	木	金
1 時限 8:30-10:00		沖縄の学校と社会	習得・学習の課題と実践	学級経営の実践と課題	
2 時限 10:20-11:50		学校管理・教員のあり方の課題と実践	習得課程編成の課題と実践	学校評価への実践と課題	指導と評価の課題と実践
3 時限 12:30-14:00		生涯学習・生涯指導の課題と実践		課題研究Ⅰ	
4 時限 14:40-16:10		学校改革の実践と課題	思考・判断・表現力育成の課題と実践	課題研究Ⅱ	
5 時限 16:20-17:50					
その他					課題解決実習 インターン実習

日課表のモデル * 前期の例

「けっこう講義が詰まっていますね」と大学院生に言われます。もちろんです。ただ、それは附属学校や連携校に実習に行くので、金曜日をあけているからです。

学びたい、もっと深く

充実の琉球大学で



問い合わせ先 * 電話&メール

琉球大学教育学部学務担当

電話：098-895-8317

Mail: infopste@to.jim.u-ryukyu.ac.jp



アクセスマップ * 会場

琉球大学文系総合研究棟 305 号室

琉球大学学生対象 第2回説明会開催のお知らせ

7月29日(Fri) 13時半から 文系総合研究棟 305号室



右の上下は授業の様子。中の上は実習校。下は沖縄のフルーツと台所。左は課題発見学習の様子。



右は大学院のある文系総合研究棟（右）と教育学部（左）。左上は大学院生のデスク。下はくつろぎのソファと研究室。

教育がもっと、もっと 好きになる、くわしくなる

教職大学院がオープンしました。これからの沖縄の教育を担いリーダーを育てる教職大学院の特色をまとめると4つ。ではどんなことなのか、紹介します。

プレミアムな体制

今年十五名の大学院生が入学しました。その大学院生に対し、指導する教授陣は、十六名。きめ細かな指導、それは対話と個別の討論によって。あなたの疑問を解決するための上質な体制です。

課題を解決するサポート

この恵まれた環境を生かし、あなたの課題解決を応援します。例えば毎週行われる課題解決に向けた授業には、教授陣が全員参加します。そして大学院生とともにグループに入り、デスカッションします。

めざすは実践と理論の融合

教職大学院のよきは、実習があることです。けど何のために？ それはあなたの課題を明確にするためです。課題を実習校で見学し、場合によっては授業していく中で、働きながら抱えてきた課題を明確にします。そして、先行の実践例を調べ優れた実践を見学します。さらに、理論的に裏付けすることで、実践と理論の融合をめざします。

沖縄県や琉球大学の配慮

課題解決に向けた配慮は、いくつもあります。例えば広い控室。ひとりひとりにデスクと棚、パソコンを用意しました。また、控室には談話コーナーも。図書館も改装し夜十時まで開館します。沖縄県もみなさんが不安なく学べるように経済的な配慮とともに学校に人員を配置してくれそうです。さらに現役大学生には嬉しい配慮が。詳しくは、説明会でお話しします。



吉田 安規良

教職大学院の専攻長。沖縄の教育を発展させるのみならず、みなさんです。



伊禮 三之

数学と沖縄を愛す。教えるとは子どもの意欲を起こすこと。一緒に学びましょう。



白尾 裕志

実習の責任者。社会に詳しく教育実践学に興味を持つ。先行実践を調べよう。



久米島から異動してこちらに。パソコンもあり施設もきれいで、充実しているわ。



広く刺激を受けたかった。回を重ねるごとにその期待に応えてくれています。



討論が多く、自由な雰囲気です。発言でき、自分の疑問に答えてもらい楽しいです！

オープンキャンパスは 7月16日